



スペースパークボランティアの会

つうしん



郡山市ふれあい科学館 スペースパークボランティアの会 会誌

第 64 号 2021 年(令和 3 年)2 月 発行

福島県郡山市駅前 2-11-1 郡山市ふれあい科学館内 TEL 024-936-0201

★ 科学グループ活動報告

新型コロナウイルスの流行感染拡大により、ボランティアの活動も色々変わりました。

科学館カウンターにはアクリル板を取り付け、活動の合間にカウンターやハサミなどの道具を消毒しています。また、工作の内容もお互いの接触ができるだけ少ない（しかし楽しい学べるもの）をとミーティングで話し合い工夫してきています。

12月の前半は、クリスマススペシャルとして飛び出すクリスマスカードづくりをしました。やや厚手の紙を二枚重ねて切るのので、小さいお子さんの中にはなかなか切れない子もいましたが、親子で仲良く作業する姿も見られ微笑ましいものでした。仕上げはツリーに星の形などのシールを飾りました。開くとツリーが飛び出す自分だけのオリジナルカードに満足そうな顔が見られお手伝いした私たちもうれしくなりました。

12月後半からはベンハムのコマ作りをしています。白黒模様の厚紙の中心にビー玉を入れ回すだけなのですが、上から眺めると色がついて、カラーで見えるという不思議な科学工作です。

これからもいろいろ工夫し、活動していきたいと思っています。（科学グループ・大越）



★ スモールスタート（スモスタ）事業【楽`菓子屋（だがしや）ひろば】

SPV ボランティア会メンバーが行っている事業を紹介します。

—+—+—+—+—

スモールスタート事業、通称「スモスタ」は郡山市が行っている地域プロジェクトであり、私はこのスモスタ事業を活用し、『私の小さな一歩 = 思いをかたちに』をテーマに【楽`菓子屋ひろば】を立ち上げました。

年々とりまく環境が大きく変わり、少子化や近所付き合いの希薄化が気になっていました。私が目指すのは、駄菓子屋を通して子どもから大人まであらゆる世代の人たちが交流できる居場所を作る、誰もが気軽に立ち寄れる孤立しない居場所の提供するプロジェクトです。

プロジェクトを始めるまでは、地域に受け入れてもらえるかどうか、イメージした場がきちんとした形になるのかどうか、不安がありました。しかし、いざ始めると近所の小学校の子どもたちが集まり、駄菓子を頬張りながらトランプやカルタに興じたり、あるいは宿題したり。親子連れのお母さんたちが絵本を読んだり、それからシニア世代の方は、腰掛け雑談したりなど、その時に居合わせた同士の関わりが日増しに盛り上がっていました。

ところがそんな折り、世の中の状況はコロナ禍で突然一変し、先の見えない状態が今も続いています。私は、こんな時だからこそ人と人の繋がりやホッとできる居場所を必要と感じています。必要としている人がひとりでも居るのであれば、楽`菓子屋ひろばはいつもあ

るべきと続けていくことにしました。一日も早くコロナが収束することを願いつつ、希望を胸に進んでいきたいと思ひます。(案内グループ・原)

—+—+—+—+—



スペースパークボランティアの会 (S.P.V.: Space Park Volunteer) は、郡山駅前・ビッグアイにある科学館「スペースパーク」を拠点に活動する市民たちによるボランティア会です。高校生から80代まで、約80名の会員が案内・科学・天文の3グループに分かれ、科学館内のほか、郡山市内各地の公民館や小学校、イベントへの出展、星空観望会などを精力的に企画・運営・参加しています。

まちづくりハーモニー賞受賞団体、星のソムリエ多数在籍。**新会員は常時募集中**です。学校関連・町なかイベント出展も承っております。

ふれあい科学館 024-936-0201、info@space-park.jp へお気軽にご連絡ください！

【会員向け通信】 2月～3月の行事の日程と内容

行事名	日程	内容
ボランティア祭り	(従来2月下旬)	中止
会員募集	3/2~4/30 5/23 6/20	前年度チラシ流用 オリエンテーション ボランティア研修
総会	(従来3月上旬) 2/5 2/7 2/21 3/14	前年度同様書面総会 原稿提出 (3グループ+3専門委員会) 第4回役員会 (資料審査+役員決定) 総会資料発送 SPVつうしん64号同封 (科学館に依頼) 第5回役員会(最終) (まとめ・継続会員確認)